

いしのまき 普及センター通信

第150号
[令和2年度第1号]

特集

春の味覚のアスパラガス

春の食卓を彩る人気者

アスパラガスは、春の食卓を彩る野菜で、直売所でもすぐに売り切れる人気品目です。一度定植すると、10年以上の収穫が可能ですが、定植2年目以降は病害虫防除が大きな課題となり、近年は国内の主要な産地においても作付け面積が減少しています。

こうした状況の中、明治大学とパイオニアエコサイエンス株式会社により、「採りっきり栽培[®]」が共同開発されました。この新しい栽培方法は、株養成の翌年にすべてを採りきることにより、病害虫の防除が慣行栽培より少なくて済み、省力化が図れることから注目を集めています。

石巻管内でも「採りっきり栽培[®]」が導入され生産者が増えつつある。アスパラガスについて、管内の最新の取り組み状況をお伝えします。



アスパラガスとあさりの彩りパスタ
アスパラガスを添えることで食卓が一気に春らしく！

アスパラガス研究会を設立しました



令和2年4月8日に栽培管理勉強会を開催しました
右下がアスパラガスの苗です

令和2年4月1日に、アスパラガス生産における技術力・販売力・ネットワーク力の3つの力を向上させることを目的に、アスパラガス研究会を設立しました。

会の活動は、技術力向上のための勉強会や販売力向上のための戦略会議、ネットワーク力の向上に関する生産者間の交流会の開催、アスパラガスの栽培情報を提供する情報誌の発行などで、事務局は石巻農業改良普及センターに置かれます

普及センターでは、今年度からプロジェクト課題に位置づけ、アスパラガスの生産振興を支援します。

「採りっきり栽培法[®]」をYouTube動画でご紹介します

今年度のプロジェクト活動「地域活性化に向けた高収益作物（アスパラガス）の導入・定着」では、活動の一環として、アスパラガス栽培管理勉強会を月に1回ずつ開催し、その内容の一部をYouTubeへ投稿して、情報発信していきます。

第1回は、4月8日に開催した「アスパラガス栽培管理勉強会（定植編）」です。

アスパラガス栽培に興味がある方、勉強会に行けなかった方、勉強会の内容を確認したい方、ぜひYouTubeをご覧ください。



「アスパラガス栽培管理勉強会（定植編）」

右記のQRコードを読み取り、動画をご覧ください。



アスパラガス栽培の魅力を生産者に聞いてみました



石巻市稲井地区でアスパラガス栽培に取り組んでいる
岡 良一さん

現在、周年で多品目の野菜を直売所等へ出荷していますが、アスパラガスは春に出荷できる露地野菜で、人気があります。

アスパラガスの栽培では、病害虫防除の回数が多くて大変ですが、令和元年から取り組んでいる「採りっきり栽培[®]」は、通常の栽培よりも病害虫防除が少なく済み、省力化を図れるので手応えを感じています。

アスパラガス栽培に新しく取り組む方へは、生産計画をしっかりと立て、適切な病害虫防除を行うことをお勧めします。

岡さんのアスパラガスは、市内のスーパーのインショップや農産物直売所で購入できます。

【問】地域農業班 ☎0225（95）7612

今年度、普及センターが重点的に展開する活動のうち、3つの取組をご紹介します

露地野菜の作付を支援します



ちぢみゆきな調整作業のポイントを学びました

【重点活動1】露地野菜の技術向上と作付拡大支援

支援の対象品目としてはキャベツ、はくさい、冬場のちぢみゆきな、ちぢみほうれんそうや、河北地区のせり等となります。キャベツにおいては水田での作付け拡大のため、排水対策や自動灌漑の試験を支援し、ちぢみゆきなについては、JAいしのまき園芸課と連携し作付け予定ほ場の確認や、土壌診断に基づく施肥等を支援してきました。GI取得を目指している「河北せり」については、高品質化に向けて苗の生産体制の整備と病害虫対策の徹底を支援しています。

【問】先進技術第二班 ☎0225(95)1435

就農前後にわたって就農者をサポートします

【重点活動2】担い手育成支援機関等との連携による新規就農者の確保・育成

新たに農業経営を開始しようとする青年等に対して品目選定や経営計画作成のアドバイスを行い、新規就農者向け支援施策を活用できるよう、関係機関と一体となってサポートしていきます。経営開始後も、経営安定化に向けて関係機関がサポートする体制を整えています。

地域で就農を考えている方、後継者候補の方がいらっしゃるいましたら普及センターをご紹介します。

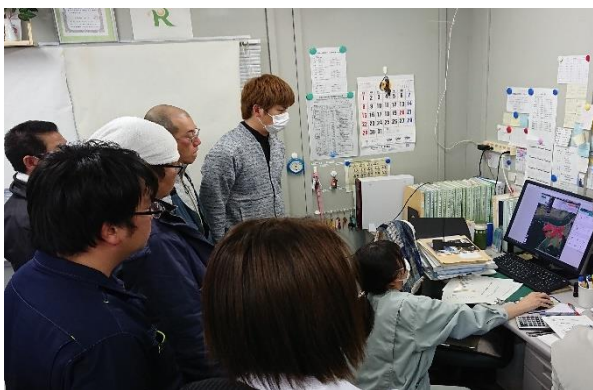
併せて、法人就職した就農者に対しても、研修などを通じてスキルアップを支援していきます。

【問】地域農業班 ☎0225(95)7612



令和元年度は法人就職者を対象にマナー・コミュニケーションの講習会を行いました

法人化や経営の課題・悩みについて相談を受け付けています



社内情報共有を活発にするためのほ場管理システムの活用を支援しました

【重点活動3】経営の発展段階に応じた総合的な支援による活力ある経営体の育成

普及センターでは、任意組織の法人化の検討から設立までの準備、法人の設立、法人設立後の運営、法人経営の規模拡大、生産技術の安定など、それぞれの経営の発展段階で生じた課題に応じて、関係機関・団体（市町・農協など）と連携して、経営の安定に向けた支援活動を行っています。

法人化に向けた話し合いや計画の作成、法人経営の規模拡大、雇用や労務管理や事業承継に関する研修会の開催など、実施しています。

【問】先進技術第一班 ☎0225(95)7612

東部地方振興事務所農業改良普及センター職員の紹介

令和2年5月1日現在

宮城県農地中間管理機構
地域コーディネーター
(東部管内担当)
門馬 満信



技術副参事兼
次長 (総括)
関口 道
・野菜



農業振興部長
兼農業改良普及
センター所長
佐々木 宏行
・畜産



技術次長
(総括)
瀧沼 小百合
・花き



農業普及
指導専門監
高橋 忠信
・作物



宮城県農地中間管理機構
地域コーディネーター
(東部管内担当)
岡田 和朗



調整指導班(5名)
TEL 95-7115

次長(班長) 遠藤 康治 ・総括 ・農事調整	技術次長(副班長) 植末 克彦 ・経営基盤強化 ・農地中間管理事業	主事 遠藤 宏樹 ・農業委員会 ・農業金融 ・農協	主事 庄子 恵実 ・農振計画 ・カーン・ケア・リズム	主事 八嶋 宏祐 ・農地転用
---------------------------------	--	---------------------------------------	-------------------------------------	----------------------

農業振興班(7名)
TEL 95-7809

技術主査 庄司 文雄 ・6次産業化 ・アグリビジネス	技術主査 阿部 健司 ・農産物認証 ・表示制度	技術主査 佐藤 英典 ・畜産関係交付金 ・強い農業づくり 交付金	技術主査 吉田 和平 ・環境保全型農業 ・市町村総合補助金	主事 折立 彩花 ・農業の適正使用 ・肥料の登録
-------------------------------------	----------------------------------	--	--	-----------------------------------

地域農業班(4名)
TEL 95-7612

技術次長(班長) 田中正義 ・総括・石巻市 (石巻・河内)	主任主査(副班長) 佐藤 元道 ・石巻市 (河北・雄勝・北上)	主任主査 増岡 直史 ・東松島市 ・青年農業者	技術主査 小山 かかみ ・石巻市(養生・社 勝) ・女川町 ・女性農業者 ・花き
--	--	----------------------------------	--

先進技術第一班(5名)
TEL 95-7612

技術主幹(副班長) 阿部 定浩 ・作物	技術次長(班長) 三上 綾子 ・総括・野菜	技術主査 木村 友祐 ・作物 ・スマート農業 ・4Hクラブ	技術主査 工藤 諒輔 ・作物 ・農業経営 ・農産物利活用	技術主査 児玉 彩 ・作物 ・GAP
---------------------------	-----------------------------	---	--	-----------------------------

先進技術第二班(3名)
TEL 95-1435

技術次長(副班長) 小林 雅文 ・果樹	技術次長(班長) 宍戸 修 ・総括・野菜	技術主査 鈴木 香深 ・野菜	技術主査 土城分析 ハート職員 早坂 佳子
---------------------------	----------------------------	----------------------	--------------------------------

「農地中間管理事業」の
相談窓口を設置しております。
お気軽にご相談ください!

石巻農業改良普及センター
(東部地方振興事務所農業振興部)
のホームページ
<http://www.pref.miyagi.jp/et-sgsin/Agri-top.htm>

内が普及センター

出入り口

出入り口

【発行】
〒986-0850
宮城県石巻市あゆみ野5丁目7番地
電話 0225-95-7612
FAX 0225-95-2999
石巻農業改良普及センター
(宮城県東部地方振興事務所農業振興部)

この冊子は50部作成し、1部当りの単価は
約90円です。

本誌は、事前にやまひん豆インキと
再生紙を使用しています。

